

『HIMAWARI』～KOYO-3S（トリプルS）ルーブリック～（数学）

科目 数学 I / 理数数学 I	単元 三角比
---------------------	-----------

評価の観点 KOYOの力		Seed【種】 ～基礎知識～	Sprout【新芽】 ～つながり～	Sunflower【花】 ～応用～
				
Kizuku ～気づく力～	向上心 (探究心)	基本的な知識や技能を獲得した。 【例】相互関係、正弦・余弦定理、面積公式などを利用し、様々な値を求めることができる。	学んだことと、中学での既習内容との関係やつながりに気づいた。 【例】①三角比の定義を理解する際に、三角形の相似を利用していることに気づく。②Tanが直線の傾きであることに気づく。③正弦定理に、円周角の定理が用いられていることに気づく。	4STEPのB問題や章末問題に取り組んだことで、学んだことと、実生活の内容との関係やつながりに気づいた。
	課題発見力	授業内容や問題演習から、疑問に気づいた。	気づいた疑問の解決に向けて取り組んだ。	解決に向けて取り組む過程で、新たな疑問に気づき、その解決に向けても取り組んだ。
Okosu ～起こす力～	言語表現力【資料】	授業内容を文字に起こした。	図や表、フローチャートに起こした。	相手が授業内容を十分に理解できる資料を作成した。
	言語表現力【発表】	授業内容を言葉に起こした。	図や表、フローチャートなどを活用し、授業内容を自分の言葉に起こした。	相手が授業内容を十分に理解できる発表をした。
Yomu ～読む力～	先を読む力	先を読み、問題のゴール（三角形の辺の長さや角度、面積など）を設定した。	設定したゴールに向けてのアプローチの仕方を先読みした。 【例】正弦・余弦定理の応用 ①三角形のいくつかの辺や角が与えられたとき、残りの辺や角を求めるために、正弦・余弦定理をどのように活用すればよいか先読みした。②与えた等式から、三角形の形状を特定するため、正弦・余弦定理をどのように活用すればよいか先読みした。	先読みしたゴールとアプローチの仕方が適切か検証し、流れを理解した。また、複数の方法でアプローチができる。
	読解力 (情報収集力)	【例】空間図形への応用 与えられた情報から、空間図形を書くことができる。また、必要に応じて平面図形として落とし込むことができる。	【例】空間図形への応用 平面図形において、必要な長さを求めるために、様々な場面で立式することができる。	【例】空間図形への応用 読み取った情報を解釈し、自分の考えを持ち、演習問題の解法に活かした。
Oshieau ～教え合う力～	協働性	決められたペア・グループの中で、与えられた活動をした。	決められたペア・グループでの教え合いの中で、わからないところを聞いたり、手を助けたりした。	決められたペア・グループを超えた教え合いの活動をした。
	課題解決力	ペア・グループの中で、与えられた課題の内容を共有した。	ペア・グループの教え合いの中で、課題を解決した。	課題を解決するだけでなく、教え合いの活動を通して、自分と異なる考えを知ったり、新たな気づきを得たりした。

【振り返り】（気づき、感想、意見、要望、質問など）

() 年 () 組 () 番 名前 ()